

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年8月4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872000906		
法人名	東成産業 株式会社		
事業所名	グループホーム いちさと	ユニット名	A
所在地	〒305-0842 茨城県つくば市柳橋122-8		
自己評価作成日	平成26年1月8日	評価結果 市町村受理日	平成26年7月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kihon=tr&JigyosyoCd=0872000906-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年3月14日	評価確定日	平成26年7月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>いちさとでは入居者様各々の生活スタイルに添って家庭的な環境の中で日々の暮らしを支えています。重度化された入居者様もご家族様のご意見を最大限尊重し延命のご希望が無ければ、終の棲家として家族との信頼関係を築きながら、ご家族、医療関係者、(Dr、訪看、薬局)職員は連携を保ちながら一丸となって看取りを行いお見送りをいたしております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員は一人ひとりの利用者と丁寧に寄り添うことで距離感のないケアに努めている。利用者職員はお互いに何でも言い合える関係で、家庭と同じ信頼関係を築いている。管理者は運営上の全てを把握しながら、職員の声を大切にされた運営に取り組んでいる。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を管理者や全職員で作成するとともに、管理者と職員は毎朝のミーティングで話し合い、共有して践に努めている。理念は常に目につくように色々な場所に掲示している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を朝礼時に確認しながら日々の実践に努めている。事業所の理念は玄関や廊下、リビング、トイレ、事務所に掲示しているほか、職員は理念が書いてあるプリントを持ち歩きながら意識付けに努め、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くに美容院が開業したのをきっかけに職員との交流を通して、グループホームの理解、防災訓練、救急救命等の行事には施設を開放して入居者の生活状況や、環境を実際に見て頂く。	事業所で開催する芋煮会や、ギターやバローンアーティストが来訪して楽器演奏する際には、地域にイベントのチラシを配布し、地域住民や子ども達も利用者と一緒に音楽を楽しんでいる。近くの小学校の運動会や市主催の敬老会に利用者と職員と一緒に参加したり、地域住民が事業所の畑で利用者とお喋りをしたりして、日常的に地域の人々と交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター、キャラバンメイト等の研修を受け更には認知症よろず相談所を受諾し地域の方々に発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族参加が難しいので通り一遍の話し合いになってしまっている。年一回アンケート調査来所時に意見をお聞きし、施設側からも情報を発信しながらご本人、ご家族にとって一番良い方法を模索しながらサービスの提供に取り組んでいる。	運営推進会議は市役所職員や民生委員、区長等で3ヶ月に1回開催しているが、家族等の参加が得られるまでには至っていない。運営推進会議が防災訓練等事業所のイベントに合わせての開催も多く、会議の内容がイベントの内容のみになったりして、日々のケアの状況や経過報告、事業所として運営上の課題等を話し合うまでには至っていない。	運営推進会議の年間予定表を作成して家族等に周知をするなど、会議への参加を促す取り組みが望まれる。運営推進会議は利用者の状況や経過報告、運営上の課題等を話し合い、より充実した会議になることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	施設の行事、避難訓練の時等には連絡をして実施、意見交換、情報交換等をしている。 包括支援センターと関係ある入居者様については生活状況を報告し相談に乗ってもらう等しているがなかなか動いて貰えない現状です	市担当者とは運営推進会議や市主催の「つくば市地域密着型サービス運営委員会」等でコミュニケーションを図るとともに、利用者の入退去状況や対応困難なケース等について訪問や電話で連携を密にし、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に拘束をしない介護で職員には勉強会等を通して理解、知識の向上に努めているが今回ガン末期の看取りを行った時には24時間の点滴を行うことになったためにご家族とカンファを行い納得した上でミトンの着用を行った。	身体拘束についての研修は事業所で作成している「年間研修日課表」の基、「身体拘束をしないマニュアル」にそって職員の勉強会を開催している。 管理者は市役所で開催する虐待についての外部研修会に勤務時間の中で参加ができるように配慮し、研修会により多くの職員が参加できるように努めている。 施設内で職員が無意識に車いすを壁に押し付けてしまう等の行為があった場合には緊急のカンファレンスを開き、身体拘束への正しい理解を深め、身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「あれ?」と思った時には職員間で直ぐに指摘が出来る様な環境作りに努めている、定例カンファの時の議題として取り上げ全員に周知している、定期的にDVD視聴や寸劇を行い虐待かどうか意識の改革を図る。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	家族、役所、職員と共に必要に応じて話し合いをしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には十分に説明をして理解を得ている 事前に契約書等の書類を持ち帰って頂き、不明なところは説明をし理解、納得してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来所したときには意見を聞き出来るだけ要望に応えるようにしている、例えば居室内の鍵の設置について等。	1年に1回無記名によるアンケート調査を実施し、家族等の意見や要望を把握する機会としている。 毎月家族等が施設利用料を支払いに来所した際に希望や要望を聴いている。 徘徊する利用者の家族等からの要望で、居室内掃出し口に鍵を設置する等、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファ時に両リビングに空気清浄機の設置を要望し購入した。又トイレ内には暖房器具を設置した。夜勤の二人体制は人材の募集をかけているがなかなか実施には至っていない	管理者は月1回のミーティングで職員の意見や提案を聴くように努めている。 職員は毎日業務連絡帳に希望や意見、気付いたことを書き、管理者は必ず目を通して運営に反映させている。 毎月の勤務表作成時には全職員の希望を取り入れ、働きやすい職場の環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	カンファレンス時、研修に参加した時等にはその時間帯に残業手当を付け、研修に参加しやすい体制を作っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実践者研修に行き学んだことを実践で生かしている（カンファ時に職員に周知し実施につなげている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定例会話合いの他にパンフレットを持って他事業所訪問を行い見学や交流を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	目配り、気配り、心配りをしながら入居者様と同じ目線でコミュニケーションを図りニーズを読み取るようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の気持ちを十分に傾聴し、理解をし安心して過ごして頂ける様に努めている。いちさとの様子、出来事を事ある事に連絡をしている（主に電話で）		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の不安を取り除けるよう入居前からご家族と連携を図り医療機関とも相談の上支援に結び付けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に入居者様の気持ちを察しつつ同じ目線で時間を共有するように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何時でもご家族、入居者様が気持ちを話せることが出来る雰囲気作りを心掛けている。 ご家族が負担に思っていることを察し共に考え支えあえるような雰囲気作りを心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人、ご家族が希望されている時には実現可能であれば協力するようにしている。	日々の利用者とのコミュニケーションから馴染みの人や場所を把握しており、床屋さんや自宅まで付き添ったり、雪の日には北海道の親戚や災害時には東北の姉に電話を繋ぐなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士でリビングを自由に行き来出来る様に支援している。毎日レク、体操の時間を設け皆様が顔馴染みになれるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去しても時々は訪問をして相談、安否確認をしている。例えばお葬式、お盆にはお線香を上げに行っているその時にお話しをしながら故人を偲び身近にいることをお伝えする。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションの中から本人の気持ちを引き出している。不明瞭な時にはご家族からお話を聴きご本人の気持ちを理解するようにしている。	一人の職員が利用者一人を1年間担当する仕組みとなっており、1年間寄り添いながら思いや嬉しいこと、楽しいこと、不安、悲しみまで把握し、利用者本位の支援に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から生活歴を聞いた上でそれに添ったサービスを実施している。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	今までの生活サイクルを重視しながら規則正しい生活を送ることが出来るよう日々努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月に一度必ずモニタリングを実施しカンファの中で個々の問題点、出来る事、出来そうな事を提案、指摘しながらサービス計画に組み込んでいる。	介護計画は利用者や家族等の思いを聴き、職員や主治医、看護師、薬剤師など、関係者の意見を踏まえて計画作成担当者が作成している。 3ヶ月毎のモニタリングや6ヶ月毎の評価に基づき介護計画を見直しているが、利用者の状態に変化が生じた場合には、その都度利用者や家族等と話し合いながら現状にそった介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	心の変化、ADLの変化に気付けるように申し送りにはおおめの時間をつくり職員間で共有し、あれこれ工夫しながら実践に繋げている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族との何気ない話の中で困っていることなどが聞けるような時にはさりげなく他の施設の紹介等を行っている。ご本人の代弁者として思いを伝える等している。ご本人、ご家族の想いによっては他施設への移動計画実施を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物、散歩、近所の子供たちが遊びに来てくれる事で顔馴染みになり挨拶が出来る様になり親しく接している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時主治医、ご家族との話合いの時間を設けご家族、主治医、施設との連携を図り月二回の往診を受ける事で健康の維持、病の早期発見に努めている。	利用者の殆どが入居時に入居前のかかりつけ医から事業所の協力医療機関の医師を主治医としている。 月2回主治医の訪問診療と週1回訪問看護師による健康維持と病の早期発見に努めるとともに、サービス計画担当者会議時には主治医や看護師もチームの一員として出席してもらうなど、事業所と主治医の信頼関係を築いている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の定期的な訪問看護による健康チェックを行い特変があれば主治医と連絡を取り指示を仰いでいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院時は病院主治医とその関係者、施設サイドではケアマネ、管理者、訪看との合同カンファを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご家族からの方針は聞いているがいざ終末期が近付いた時には再度Drとご家族、訪看、いちさとのカンファを行いご家族の方針に沿った支援を実施している。ご家族が来所できない時にはその都度ご家族へご報告をしている。	重度化した場合の延命治療および看取りに関する方針に基づき、入居時及び終末期の介護開始時において利用者や家族等に説明して同意を得ている。 看取り介護の段階に入った場合には、家族等との話し合いを重ねるとともに、家族等が利用者と一緒に寝起きができるように配慮しながら終末期支援に取り組んでいる。 看取り介護は、事業所と主治医や訪問看護師、薬剤師などとの連携を密にしながらの取り組みであるが、施設長や管理者、介護支援専門員のみで研修を実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時はいちさとマニュアルに沿って行動できるように日頃から訓練、報告方法等を身に付けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害に備え定期的に防災訓練を行っている。ご近所の方は声掛けするも働いている方が多いため参加して頂くことが難しいのが現実である。区長さん、元区長さん、民生委員さんはその都度参加して下さっている。	防災訓練は年2回地域の区長や民生委員の参加を得ながら夜間を想定した訓練を実施している。 消防署立会いでアドバイスを受け、スロープの出口を新設したり、消防署立会いのない時は防災管理マニュアルに基づき、地震対応訓練等も実施している。 水や食糧の備蓄の他、玄関にはブルーシートやロープ、防災頭巾をそろえて災害に備えている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	守秘義務については入社時に守秘義務に付いての誓約書を取り個人情報の守秘義務を厳守している。 入居者様は生活歴をスタッフ全員で把握し出来るだけご本人の想に沿った対応をしている	利用者一人ひとりの人格を尊重し、大声は出さない言葉かけに努め、気分を損ねないように対応をしている。 職員採用時に守秘義務に関する誓約書を提出してもらい、個人情報の守秘義務厳守に努めている。 個人情報に関する書類は事務室の鍵のかかるロッカーに保管している。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段より意思疎通を図りご本人の想を引き出している。	/		/	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活習慣に合わせ見守り支援している起床、就寝時間、昼寝等はご本人のペースで対応している。				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人に合った服装や髪型等希望に沿うようにしている。買い物やお出掛けは声掛けや申し出で対応している。				

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々人の食事形態に合わせ提供して職員と共にテーブルを囲み会話をしながら楽しく召し上がって頂いている。利用者様も食材運搬や片付け等を積極的にして下さっている。	食材配達業者の献立によって職員が調理をするとともに、利用者は食材運びや食器拭き、黒板に今日の献立を書く等のお手伝いをしている。 利用者一人ひとりに担当者を配置し、誕生日には利用者の希望する特別献立を提供している。 釜飯セットや寿司などの出前を利用するほか、敷地内の自家菜園で収穫した野菜を使った料理を加えるなど、工夫しながら食事を楽しむことができるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康チェック表を活用し個々の摂取量を把握し少ない時は好みの物をストックしておきその都度提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1日3回口腔ケアを実施している。義歯洗浄剤も毎日行うことが習慣となっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を参照しながらのトイレ誘導自立の方に対しては見守り又は一部介助を行っている。	排泄チェック表を基に、利用者一人ひとりの排泄パターンや、もじもじするなどの排泄サインを見逃さずに前誘導をすることで、おむつやパッドの使用量を減らすように努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時の水分補給、リハビリ体操や散歩の適度な運動と共に個々の状態に応じて医師からの処方薬やセンナ茶やゴボウ茶等に対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴表に沿ってはいるがご本人の活動状態や体調により随時変更を含め対応している。	利用者全員の1週間の入浴一覧表を作成し、基本的には週2回の入浴となっている。 畑仕事をした後や運動で汗をかいた時にはシャワー浴をするほか、菖蒲湯や柚子湯などで季節を感じる入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の環境整備に配慮して適度な運動と個々の生活習慣を重んじ対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、薬剤師の指導のもとに服薬管理を行っている、薬剤ノートを作り処方変更や追加等も全員が把握出来るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味に合わせて支援、見守りをしている、ご家族と外出が可能な方にはご家族と連携して自由に外泊、外食等を支援して楽しんで頂いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人の希望に沿って外出やお買い物、帰宅等支援している。地域の行事等も周りの人の協力を得て参加している。（小学校の運動会お花見、紅葉狩り等）	利用者の希望にそって天気の良い日の散歩や買い物を日常的生活習慣としている。 桜やさつき、紅葉などの季節には、お弁当を持ってドライブに出かけ、四季を感じながら外気にふれられる支援に努めている。 年末にはつくば市から75歳以上の高齢者に対し、「共同募金の歳末金」が支給されるため、利用者が楽しみにしている買い物に付き添っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理のできる方にはその都度お金をお渡しして自由に使うことが出来るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は希望があればその都度対応している、ご家族からの郵便物が届いた時にも御礼の電話等直接ご本人にかけて頂き会話を楽しんで頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔を心掛け常に安全に過ごせるように室温や騒音に気配りしている、手作りのカレンダーや花など季節感の有る物を飾っている。	共用空間のリビングにはソファやテレビ、椅子などが利用者の暮らしのスタイルに合わせて配置されるとともに、壁には利用者が制作したカレンダーや塗り絵、折り紙で季節感を演出し、利用者が居心地よく過ごせるように工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様同士での会話が弾み楽しく過ごして頂けるようにその状態での席替え等行ったり居室誘導し静かな時間や場所を提供したり工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	プライバシーに配慮し安全、清潔に心掛けてご本人の馴染みの物を持参して頂き安心して穏かに過ごせるように心掛けている。	利用者は居室にテレビや箆笥、鏡台など使い慣れた物品や家族の写真などを飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。 居室内で転倒しないように家具等の配置に注意をした支援に取り組んでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室を良く間違える方にはドアーにその方の目線で名前を掲示、トイレ、浴室もスムーズに行けるよう配慮している。段差のつまずきや床が濡れている時は転倒等に至らないように環境を整えている。（名前の掲示はご家族の了解を得ている）		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームいちさと

作成日 平成26年7月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	推進会議へのご家族の参加が少ない。当施設は生活保護者が多くご家族の参加が難しい。平日は仕事をされていて難しい。	もう少し参加人員を増やしたい。	年間目標を作成しご家族のニーズに合うよう模索しながら進めていきたい。	2年位

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。